

平成28年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	四日市市少年自然の家 四日市市水沢市民広場
所在地	四日市市水沢町字大谷1423-2 四日市市水沢町252-63
指定管理者	<p>名称 株式会社 小学館集英社プロダクション</p> <p>代表者 代表取締役 都築 伸一郎</p> <p>住所 東京都千代田区神田神保町2丁目30番地</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、毎月開催する連絡調整会議において、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握するとともに、指定管理者が実施する主催事業や自然教室については、市職員が適宜行うモニタリングや参加者アンケート等を基に改善点等を協議しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。</p>
担当部課 (問合せ先)	<p>こども未来部こども未来課青少年育成室</p> <p>TEL : 059-354-8247</p> <p>E-mail : ikuseishitsu@city.yokkaichi.mie.jp</p>

■ モニタリングの総合コメント

少年自然の家及び水沢市民広場の管理運営状況については、豊かな自然環境の中で、集団宿泊訓練、野外活動、自然探求等を通じて心身ともに健全な青少年の育成を図ることを目的とした社会教育施設としての目的を十分に達成し、各項目とも、概ね事業計画に合致した管理運営が行われました。また、自然を活かした大門池でのカヤック体験や工作体験など民間のノウハウを活かした多様なプログラムを利用者に提供し、指定管理者制度導入の趣旨である効率的・効果的な運営がなされています。平成28年度はイベント開催時に大雨や大雪になるなど天候に恵まれず、施設利用実績及び利用料金収入が昨年度より減少しましたが、予算額を上回る結果となりました。

施設の維持・管理については、施設の老朽化、経年劣化に伴う故障や保守点検での指摘等に対して、適切に修繕を行うなど良好であると判断します。

施設運営や利用者への対応については、施設利用者や主催事業の参加者にアンケートを行い、直接、利用者からの声を聞き、改善点や要望、ニーズに応えるよう努力しています。アンケート結果をみても、職員の対応等について高い評価が得られています。また、教育委員会指導課開催の自然教室運営委員会の中でも、指導課・学校等からの意見や要望について、「誠実に対応する姿勢が見られる。」という報告があります。また、周辺施設の環境学習情報センター、ふれあい牧場、スポーツランドと連携した4施設合同事業を年2回春と秋に実施したり、地域のイベントや他の類似施設・団体との共催事業、出前講座を開催したりすることで施設のPRに大きくつながっています。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

平成28年度主催事業についても、年間を通して行う事業や野外体験活動、自然素材を活用した工作教室、市と連携した家庭の日応援プロジェクトなど、施設周辺の恵まれた自然環境や民間のノウハウを活かした事業が開催されました。また、利用者からのアンケート結果における要望・意見を踏まえ、多くの市民が興味を持てるようなテーマ設定など事業内容を検討し、廃止・継続も踏まえて主催事業のさらなる充実を目指すことについて、職員間で検討を重ね、改善が見られます。今後も、利用者の高い満足度を維持するために、施設職員としての資質や接遇の向上はもとより、野外活動等に関して、適切な募集定員数や対象者の見直し等の改善を図るよう指導を行います。そして、利用者の視点に立った社会教育施設として効果的な運営を進めるため、毎月の連絡連絡調整会議を通じて確認及び指導を行います。

また、今後施設の老朽化について、指定管理者と市が施設の現状を的確に把握し、利用者が安全かつ快適に施設を利用できるよう、計画的に施設修繕を行う必要があります。

合目的性・公平性・効果性

少年自然の家条例・水沢市民広場の設置及び管理に関する条例及び仕様書に基づき適切に管理運営が行われました。利用の公平性・平等性の観点から、繁忙月（7月・8月）については、公開抽選会を行うなど、公平性の確保に努めていました。また、ホームページ及び市広報の他、民間の子育て情報誌等を活用するなど、主催事業の案内等の情報提供に努めていました。

機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

自然を活用し、大門池でのカヤック体験や趣向を凝らした宿泊体験など、自然に親しむことの醍醐味を幅広く利用者に提供することができました。また、豊富な活動プログラムを準備し、天候に応じて柔軟に活動を変更することで利用者のニーズに対応していました。また、季節に応じた主催事業や昨年度にアンケートで要望のあった小学校低学年を対象とした事業を実施し、幅広い年代が参加できるような活動の企画に取り組み、指定管理者として機能性を発揮していました。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

施設は、所長を中心に総務課（経理等を担当）、指導課（主催事業・受入事業を担当）の2課制により組織され、適切に運営をしていました。毎朝の朝礼で施設や利用者情報の共有化等を行うとともに、月1回以上の職員会議において、緊急時体制の確認及び危機管理マニュアルの読み合わせや、主催事業の企画や反省、修繕箇所への対応、安全管理、ヒヤリハット報告と対応策等を協議していました。管理責任者（所長）、防火管理者及び危険物取扱者も選任され、宿泊利用がある場合は、宿直1名・補助者1名計2名が配置され、非常時の誘導等に備えるなど適切に職員が配置されていました。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

施設利用料の収入、給食業務受託者が使用する電気代・水道代の請求及び収入、人件費及び管理費等の支出については、月例の事業報告及び連絡調整会議時に領収書・経理簿等で確認し、適切に処理されていました。施設の保守点検等の報告書類も作成・整備され、適切に処理されていました。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

毎年、危機管理マニュアルと四日市市・少年自然の家・小学館集英社プロダクションとの緊急連絡体制表を見直し、作成しています。そして、感染症対応マニュアルやカヤックの安全基準指導マニュアル等も見直し、適切に対応していました。また、平成28年度より自衛消防団を結成し、避難訓練・火災避難誘導訓練・消火訓練（4月22日、6月7日、10月28日）を適切に実施していました。各種警報等の発令時には、利用者等に対して迅速に周知するなど適切に対処していました。

社会性（環境等への配慮）

利用者が出したゴミは原則持ち帰りであることを利用者に周知し、協力を依頼するなどゴミの減量に努めていました。野外炊事やキャンプファイア等での薪の使用についても、適量での使用を呼びかけるなど環境に配慮するとともに、施設内においても「照明、冷暖房のスイッチ確認」「ごみの分別」等、省エネに努めていました。

経済性

指定管理初年度（平成25年度）から実施している開館日数を維持し、主催事業を創意工夫しましたが、大雪など天候の影響などもあり、その結果、利用者実績は昨年度実績より少なくなりましたが、年度当初計画より約5千人増加しており、収入についても約81万円の増額となりました。

支出については、広報活動も兼ねて、他団体との共催事業や出店を多く無料で実施したことで、支出が増加したもののサービスの維持向上を図りつつ経営努力をしたことで、年度当初計画より約54万円の増額に留められました。その結果、収支としては約28万円の黒字となりました。

経営の健全性

貸借対照表、損益計算書等を分析した結果、経営は安定しており、特に問題はないと判断しました。

障害者雇用に対する取組み

法人における障害者雇用率は2.12%であり、法定雇用率を達成しました。

施設概要調書

1. 施設の概要

平成28年度

施設名	四日市市少年自然の家		所管課: こども未来部こども未来課 青少年育成室
所在地	四日市市水沢町字大谷1423-2		設置年月: 本館 昭和62年11月8日 分館 昭和48年7月31日
設置目的	豊かな自然の中で集団宿泊訓練、自然探求等を通じて、規律、協同、友愛、奉仕の精神を養い、心身ともに健全な青少年の育成を図る。		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市少年自然の家条例(昭和62年3月31日条例第22号)		
施設の概要	設備の概要	敷地面積 (㎡)	382,000㎡ (うち、ふれあいの森260,000㎡)
		延床面積 (㎡)	本館3,066㎡ 分館1,339㎡
		本館 構造: 鉄筋コンクリート(地上3階、地下1階) 宿泊定員177人 1階 事務室、医務室、会議室、浴室、総合研修兼体育館等 2階 宿泊室、食堂、リーダー室等 3階 宿泊室、研修室、リーダー室等 分館 構造: 鉄筋コンクリート2階建 宿泊定員101人 1階 研修室、大広間、創作室、乾燥室、リーダー室等 2階 宿泊室、講義室、リーダー室等 キャンプ場、野外炊事場、ふれあいの森、自然の家駐車場	
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 少年自然の家及び水沢市民広場の管理運営に関する業務。 少年自然の家及び水沢市民広場の使用許可及び受入等に関する事。 少年自然の家における主催事業の実施に関する事。 少年自然の家の利用料金の徴収等に関する事。 少年自然の家及び水沢市民広場の施設並びに付属施設や設備の維持管理に関する事。 その他、少年自然の家及び水沢市民広場の管理運営に関して四日市市及び教育委員会が必要と認めた事。 	

2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	
			計画対比
開館日数	357日	357日	計画通り
開館時間	8:30~17:30	8:30~17:30	計画通り

3. 利用実績

項目		実施計画	実施内容 (事業報告書)	
				計画対比
延べ利用者数		50,000人	55,698人	5,698人
平均利用率	平均	140.0人/日	156.0人/日	16.0人/日

4. 事業収支

(単位:円)

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
指定管理料	69,000,000	69,000,000	0
利用料金	21,924,000	22,893,815	969,815
事業収入	2,687,200	2,435,280	△ 251,920
その他	1,193,400	1,287,330	93,930
収入計	94,804,600	95,616,425	811,825
人件費	44,640,000	44,640,000	0
管理費	45,833,800	45,015,835	△ 817,965
消耗品費	1,879,200	2,379,562	500,362
燃料費	3,920,400	2,612,547	△ 1,307,853
印刷製本費	1,285,200	1,072,580	△ 212,620
光熱水費	8,930,800	7,717,726	△ 1,213,074
修繕料	3,267,000	3,293,479	26,479
通信運搬費	972,000	978,803	6,803
広告料	270,000	139,320	△ 130,680
手数料	3,132,000	3,189,691	57,691
保険料	329,400	475,698	146,298
委託料	11,551,626	11,821,622	269,996
賃借料	2,278,488	2,458,032	179,544
その他	8,017,686	8,876,775	859,089
事業費 (ソフト事業等)	4,330,800	5,685,402	1,354,602
一般管理費	0	0	0
支出計	94,804,600	95,341,237	536,637
収 支	0	275,188	275,188

施設概要調書

1. 施設の概要

平成28年度

施設名	四日市市水沢市民広場		所管課：こども未来部こども未来課 青少年育成室
所在地	四日市市水沢町252-63		設置年月：平成 4年10月11日
設置目的	市民がスポーツ及びレクリエーションに親しむことができる場を提供し、もって市民の健康で明るく豊かな生活の形成に寄与する。		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市水沢市民広場の設置及び管理に関する条例		
施設の概要	敷地面積 (㎡)	10,000㎡	
		延床面積 (㎡)	_____
	設備の概要	芝生広場 東屋、トイレ、水沢市民広場駐車場	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 少年自然の家及び水沢市民広場の管理運営に関する業務。 少年自然の家及び水沢市民広場の使用許可及び受入等に関すること。 少年自然の家における主催事業の実施に関すること。 少年自然の家の利用料金の徴収等に関すること。 少年自然の家及び水沢市民広場の施設並びに付属施設や設備の維持管理に関すること。 その他、少年自然の家及び水沢市民広場の管理運営に関して四日市市及び教育委員会が必要と認めたこと。 		

2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	
		計画対比	
開館日数	365日	365日	—
開館時間	設定なし	設定なし	—

3. 利用実績

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	
		計画対比	
延べ利用者数	20,000人	20,640人	640人
平均利用率	平均	54.7人/日	1.8人/日

4. 事業収支 (少年自然の家概要調書に含む)

平成28年度 四日市市少年自然の家 運営状況 チェックシート

1. 運営企画

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数	357日	357日	計画通り	適正に執行された。	適
開館時間	8:30~17:30	8:30~17:30	計画通り	宿泊者がある場合、その活動時間に応じて対応する等、適正に執行された。	適
事業開催(回)	65	64	計画通り	適正に執行された。 ※H29.1.15大雪のため中止	適

2. 利用実績

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否	
延べ利用団体数	400	421	21	適正に執行された。	適	
延べ利用者数	50,000	55,698	5,698	適正に執行された。	適	
団体種別 利用人数	自然教室等(学校利用)	17,000	12,782	-4,218	適正に執行された。	適
	青少年・一般・その他	17,000	14,833	-2,167	適正に執行された。	適
	主催事業	16,000	16,112	112	適正に執行された。	適
稼働率	平均	72.0%	73.0%	1.00%	適正に執行された。	適
	平日	61.0%	61.0%	0.00%	適正に執行された。	適
	土日祝	85.0%	86.0%	1.00%	適正に執行された。	適

3. 事業収支 ※ その他：食堂委託業者からの光熱水費及びコインランドリーの収入

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
利用料金収入	21,924,000	22,893,815	969,815	適正に執行された。	適
指定管理料	69,000,000	69,000,000	0	適正に執行された。	適
自主事業収入	2,687,200	2,435,280	△ 251,920		適
その他収入	1,193,400	1,287,330	93,930	適正に執行された。	適
収入計	94,804,600	95,616,425	811,825		適
人件費	44,640,000	44,640,000	0	[勤務体制：正職員7人、臨時職員8人]	適
管理費	45,833,800	45,015,835	△ 817,965	・管理費の「その他」や事業費はすべての主催事業の経費(材料費等)である。	適
消耗品費	1,879,200	2,379,562	500,362	毎月実施の「家庭の日応援プロジェクト」や施設開放等、全65事業のうち、	適
燃料費	3,920,400	2,612,547	△ 1,307,853	参加費無料の事業が19事業あったり、	適
印刷製本費	1,285,200	1,072,580	△ 212,620	出前講座や他団体との共催事業において、「木ホルダーづくり」などの活動も	適
光熱水費	8,930,800	7,717,726	△ 1,213,074	無料で行えるようにし、多くの参加者が	適
修繕料	3,267,000	3,293,479	26,479	あったりしたため計画より支出が増額となった。しかし、施設内の電灯等のLED化を進め、	適
通信運搬費	972,000	978,803	6,803	節電に努めるなど職員の経営努力により、	適
広告料	270,000	139,320	△ 130,680	燃料費及び光熱水費の支出が抑えられ、	適
手数料	3,132,000	3,189,691	57,691	施設維持管理費については、	適
保険料	329,400	475,698	146,298		適
委託料	11,551,626	11,821,622	269,996		適
賃借料	2,278,488	2,458,032	179,544		適
その他	8,017,686	8,876,775	859,089		適
事業費(ソフト事業等)	4,330,800	5,685,402	1,354,602		適(余)
一般管理費	0	0	0		
支出計	94,804,600	95,341,237	536,637		適
収支	0	275,188	275,188		適

総合コメント

市民への周知・PRや利用者の拡大及びレポート利用に向けての働きかけが実を結び、利用者は昨年より減少していますが5万人を超えています。収入については、利用料金収入が当初計画より伸びて約81万円増額となりました。支出については、当初計画より約53万円の増額となっていますが、日常的に全職員が施設の日常点検の回数を増やし、簡易な修繕やふれあいの森の整備を作業員と職員とでこまめに行うことで施設管理の経費削減に努めています。そのため、燃料費や光熱水費にかかる使用量は当初計画より約100万円も削減しています。これは、施設職員の努力によるものと判断できます。引き続き、燃料費は料金単価が変動することから、高騰した場合に備えて使用量を更に抑えられるよう運営の在り方や職員の節約に対する意識を高めていく必要があります。収支としては、約27万円の黒字となりました。

平成28年度 少年自然の家及び水沢市民広場 運営状況 チェックシート①-2

項目		事業分析	適否判断
利用実績		<p>少年自然の家利用者は55,698人（水沢市民広場を利用した人はのべ20,640人）となり、目標の50,000人を上回りました。多くの人が施設を訪れており、主な要因としては、次の3点が考えられます。</p> <p>①指定管理初年度の平成25年度から実施してきた年末年始の期間を除く全ての期間の開館が利用者に定着してきたこと。</p> <p>②利用者の声にしっかりと耳を傾け、ニーズに対応した事業や体験活動を実施していること。</p> <p>③自然の家職員の利用者への対応やサービスに対する評価が高いこと。</p> <p>また、利用者の満足度は98%と高い評価を受けています。さらに安全・安心に活動してもらえるように、御在所岳登山や御在所スキー研修事業等において、自然の家職員だけでなく、専門家を講師として招いたり、多くのボランティアスタッフと協働して実施したりする運営力も高く評価できます。水沢市民広場の利用者の減少については、毎年行われている水沢地区にある公共施設合同イベントの利用者は横ばいでしたが、単発のイベントが、新名神高速道路工事の関係で行われなかったことも影響しています。</p>	適
事業 収支	収入	<p>昨年度から実施している市民への周知・PRや利用者の拡大及びリピート利用に向けての取り組みが着実に利用実績の向上へとつながり、昨年度より利用者は減少しましたが、職員のきめ細やかなサービスが行き届くため、利用料金収入及び自主事業収入が当初計画より約81万円増となりました。</p>	適
	支出	<p>今年度は、主催事業経費が計画より増額となりました。これは、少年自然の家で体験できる活動をより多くの方に周知するために、参加費を無料とした主催事業を設定したことに加え、他の施設との共催事業や出前講座を無料で開催したことにより参加者が増加し、約25,000人（昨年度比10,000人増）の参加者があったことで、材料費などのコストが計画より多くかかったことによるものです。</p> <p>作業員及び職員が日常的に施設内を点検し、簡易な修繕やふれあいの森の整備を行ったり、施設の電灯等のLED化を進めたことによる節電や節水に努めたりするなど、コストの削減に努め、支出を抑える努力を適切に行っています。</p>	適

平成28年度 少年自然の家及び水沢市民広場 業務の履行状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	業務従業者の要件等	業務執行体制（各業務・作業責任者等）が明確になっているか、また、変更した場合連絡先を市に届出されているか	書面確認	H28.4.1書面確認。仕様書のとおり行われている。	適
	法令等の遵守	法令等で定められた書類を提出したか	書面確認	H28.4.1書面確認。関係法令に定められたとおり行われている。	適
	報告書等の提出	各業務計画書・報告書は提出されたか	書面確認	H28.4.1 事業計画書確認、H28.4.25 事業報告書確認。月次事業報告書で確認。適切に執行されている。	適
		自主事業の計画書・報告書は提出されたか	書面確認	H28.4.1 事業計画書確認、H28.4.25 事業報告書確認。月次事業報告書で確認。適切に執行されている。	適
		収支予算書・決算書は提出されたか	書面確認	H28.4.1 事業計画書確認、H28.4.25 事業報告書確認。月次事業報告書で確認。適切に執行されている。	適
	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	現地確認	毎月の連絡調整会議にて十分に情報共有が行われている。	適
	各種管理記録等の整備保管	各種業務計画書が整備、保管されているか	書面確認	毎月の連絡調整会議で書面を確認し、適切に保管されている。	適
		業務日誌等の報告書、点検記録は整備、保管されているか	書面確認	毎月の連絡調整会議で書面を確認し、適切に保管されている。	適
		整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか（事業期間終了時まで）	書面確認	毎月の連絡調整会議で書面を確認し、適切に保管されている。	適
		付保している保険を市に通知しているか（更新を含む）	書面確認	H28.4.25書面確認。適切に実施されている。	適
	非常時・緊急時の対応	緊急事態発生時の対処マニュアル（緊急連絡網の掲示を含む）が整備、保管されているか	書面確認	H28.4.25書面確認。適切に実施されている。	適
		緊急発生時、ないし危険が予測される場合に直ちに措置を講じたか	現地確認 書面確認	毎月の連絡調整会議にて書面を確認。緊急時に備える体制は整えられている。	適
事故等の報告書が提出されたか		現地確認 書面確認	毎月の連絡調整会議にて確認。緊急の事故等については速やかに報告されるよう体制が整えられている。	適	
建築物保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	書面確認	毎月の連絡調整会議にて書面を確認。適切に実施されている。	適
		法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか	書面確認	毎月の連絡調整会議にて書面を確認。適切に実施されている。	適
設備保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	現地確認	H28.4.25市担当者が現地にて確認。適切に実施されている。	適
	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	書面確認	毎月の連絡調整会議にて書面を確認。適切に実施されている。	適
法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか		書面確認	毎月の連絡調整会議にて書面を確認。適切に実施されている。	適	
備品・什器等保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	現地確認	H28.4.25市担当者が現地にて確認。適切に実施されている。	適
	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	書面確認	H29.3.29書面確認。適切に実施されている。	適
外構施設保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	書面確認	毎月の連絡調整会議にて書面を確認。適切に実施されている。	適
清掃業務	清掃	清掃は確実に実行されているか	書面確認 現地確認	毎月の連絡調整会議で現地にて書面及び清掃状況確認。仕様書通り行われている。	適
警備業務	業務等	業務が計画書に基づいて実施されているか	書面確認 現地確認	毎月の連絡調整会議で現地にて書面及び清掃状況確認。仕様書通り行われている。	適
		不審者に対し適宜質問をしたり、警察へ通報する等のマニュアルを作成しているか	書面確認	H28.4.25書面確認。適切に実施されている。	適
	鍵管理	マスターキー等の管理は適切か	現地確認	H28.4.25現地確認。仕様書通り行われている。	適
	防災	マニュアルは作成されているか	書面確認	H28.4.25書面確認。適切に実施されている。	適
植物育成管理業務	樹木管理	剪定時期等は適切か	書面確認 現地確認	毎月の連絡調整会議で現地にて書面及び状況確認。仕様書通り行われている。	適
	花壇管理	四季の植栽は適切か	現地確認	毎月の連絡調整会議で現地にて状況を確認。適切に実施されている。	適
施設利用案内	行事開催案内	パンフレット類は整備されているか	現地確認	毎月の連絡調整会議で現地にて確認。適切に整備されている。	適
	ホームページ作成	ホームページは更新されているか	ホームページ確認	随時確認。適切に実施されている。	適
管理システム受付業務	機器管理	研修を実施しているか	書面確認 現地確認	月次報告書及び現地にて市担当者確認。適切に実施されている。	適
	システム管理	更新・変更は常になされているか	書面確認	H28.4.25書面確認。適切に実施されている。	適
		トラブルに対応したか	書面確認	H28.4.25書面確認。適切に実施されている。	適

総合コメント

法令の規定及び仕様書で定めた書類の提出及び経理簿、保守点検の結果等適正に処理されていました。連絡調整会議では、毎月の利用状況、収支、職員の配置体制、保守点検の結果及び利用者アンケートの結果、翌月の自主事業計画について協議・確認を行い、適正に処理していることを確認しました。

平成28年度 少年自然の家 自主事業の実施状況 チェックシート

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
1 平成28年4月9日(土) ジュニアスタッフ研修	対象：ジュニアリーダー 参加者固定：24人 期間：日帰り	登録者数：24人 参加者数：24人 ・ワークショップ	主催事業をサポートする中学生までの希望者をスタッフとして登録し、心構え等の研修を行った。今後の事業に積極的に参加させ、経験を積む機会を与え、ゆくゆくは主催事業のリーダーとして活躍していけるよう取り組む必要がある。	適
2 平成28年4月10日(日) RED隊①	対象：小4～中3 募集人数：40人 期間：日帰り	応募者数：53人 参加者数：44人 ・保護者説明会 ・入隊式 ・交流会	事業を始めるにあたり、保護者に向けた説明会の開催は、今後活動する中で必要なものと感じた。保護者も子ども達も何をするかを理解できたため、この事業に取り組む意欲がわきやすいと思われる。	適
3 平成28年4月17日(日) 家庭の日応援プロジェクト4月	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：6家族15人 ・自然観察 ・竹箸・キーホルダーづくり	雨天のため、参加人数が少なく、ゆっくりした雰囲気の中での活動となった。天気によって参加者が左右される事業のため、雨でも来てみたくなる事業の設定が必要だと考えられる。	適
4 平成28年4月23日(土)、24日(日) 春のワクワクふれあい祭り	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り2日間 4施設合同イベント	参加者数：延べ5,836人 23日：1,370人 24日：4,466人 ・遊び体験コーナー ・模擬店 ・工作コーナー	毎年行われている春の恒例行事ではあるが、1日目は土曜授業のため参加者は少なかった。今後は日程を決定するときに市と確認しながら進めていくようにしたい。	適
5 平成28年4月29日(金) グリーン隊①	対象：小4～中3 募集人数：40人 期間：日帰り	応募者数：37人 参加者数：34人 (登録者数：37人) ・入隊式 ・五感を使った自然観察 ・タンポポ地図作り	平成28年度初めての活動のため、レクリエーションで仲間意識を高めた。その後、自然の家周辺や星の広場に出かけてタンポポの頒布を調べて地図を完成させていた。	適
6 平成28年4月30日(土)～5月1日(日) まるごと自然の家！ (指導者養成)	対象：リーダー登録者 (高校生、大学生、一般) 参加者固定：18人 期間：1泊2日	応募者数：18人 参加者数：6人 ・野外活動の実践 ・リーダーとしてのスキルアップ ・テント泊	高校生を中心に、自然の家主催事業等のサポートをするためのスタッフ養成講習であった。参加人数は少なかったが、意欲的に取り組んでいた。今後、自然の家の主催事業に意欲的に参加できる機会を取り入れることが必要である。	適
7 平成28年5月3日(火) 山菜クッキング	対象：家族・一般 募集人数：60人 期間：日帰り	応募者数：83人 参加者数：78人 ・山菜採取 ・山菜の天ぷら試食	この事業は、幅広い年代の方々から参加をしていただけの人気の高い事業である。山菜の見分け方などを学び、山菜採取後、事前に用意していた山菜を調理していただいた。自然を活かした満足度の高い事業であった。	適
8 平成28年5月7日(土)～8日(日) RED隊②	対象：小4～中3 参加者固定：47人 期間：1泊2日	参加者数：46人 ・テント設営 ・野外炊事 ・キャンプファイアー ・自然体験	参加者は初めてのキャンプのため、とまどいながらも楽しく活動していた。ジュニアスタッフを班付リーダーにして、経験を活かした活動ができるよう試みていた。プログラムはつつがなく終了できていた。	適

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
9 平成28年5月14日(土) ちびっこ隊1-1	対象：小1～小3 募集人数：30人 期間：日帰り	応募者数：129人 参加者数：29人 ・森の探検 ・ネイチャーゲーム ・名札づくり	参加対象が低学年向けの初めての事業であったため、応募率も高く、関心の高い事業であった。森の探検や名札作りなど、まずは自然の家に慣れてさせていく取り組みであった。参加者の年齢に応じたプログラムであった。	適
# 平成28年5月15日(日) 家庭の日応援プロジェクト5月	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：56家族219人 ・お茶摘み体験 ・手もみの製茶体験	自然の家と地元との連携がうまくできた事業である。参加家族のうち、市外7、初参加14家族で、市内外から参加がある人気の高い事業である。お茶もみは時間がかかるため、待ち時間の案内や遊びコーナーを設けるなど、飽きさせない工夫をしていた。	適
11 平成28年5月21日(土)～22日(日) プチサバイバルキャンプ	対象：小4～中3 募集人数：40人 期間：1泊2日	応募者数：64人 参加者数：40人 ・疑似災害時の生活体験 ・野外炊事 ・ドラム缶風呂	防災がメインだったが、野外活動と混合したプログラムとなり、事前準備不足もあり、一部のプログラムが実施できなかった。だが、今後必要になるかもしれない体験であり、満足度は高いものであった。	適(条)
12 平成28年5月29日(日) グリーン隊②	対象：小4～中3 参加者固定：37人 期間：日帰り	参加者数：36人 ・五感を使って自然とふれあう ①同じ匂いの葉っぱを探す ②ルリタテハの幼虫観察 ③クリタマバチ、ナラメリンゴフシの虫の観察	五感を使った自然観察を実施した。同じにおいの葉っぱさがしや虫取り網を持って昆虫採集や捕まえた虫の記録スケッチなど意欲的に取り組んでいた。	適
13 平成28年6月11日(土)～12日(日) グリーン隊③	対象：小4～中3 参加者固定：37人 期間：1泊2日	参加者数：37人 (ボランティアリーダー：2人) ・内部川水生生物観察 ・ホテル観賞 ・モリアオガエルの観察	参加率100%の事業であった。内部川の水生生物を捕まえたり、夜はあらかじめ仕掛けたトラップに寄ってきた昆虫を観察したりするなど、参加者に満足度の高い事業であった。自然の家にふさわしい活動内容であったと思われる。	適
14 平成28年6月18日(土) ちびっこ隊1-2	対象：小1～小3 参加者固定：33人 期間：日帰り	参加者数：31人 ・マッチの火つけ ・レクリエーション ・キーホルダーづくり	同じメンバーで2回目の活動のため、子ども達が戸惑うことなく活動できていた。マッチの火付けは初めて触る子が多く、興味深い体験となった。低学年児童が対象で、長時間集中できずすぐに遊ぶ参加者もいるため、プログラムに工夫があった。	適
15 平成28年6月19日(日) 家庭の日応援プロジェクト6月	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：16家族53人 ・クラフト体験	参加家族は16家族中リーダーが11家族と家庭の日の活動が周知されているとみられる。雨天のため、川遊びの予定をクラフトに変更した。家庭の日は幼稚園児を連れた親が多いため、幼児向けのクラフトの対応が求められる。	適
16 平成28年6月26日(日) RED隊③	対象：小4～中3 参加者固定：47人 期間：日帰り	参加者数：38人 ・森の運動会 ・テント設営	班別活動で、敷地内を回り、ミッションをクリアしていた。内容が班別競争だったため、坂を駆け下りたりするなど危険な点もあった。参加者の動向に注意を払いつつ、班内の交流を深めているよう指導をお願いした。	適

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
17 平成28年7月2日(土) ちびっこアウトドア デイキャンプ	対象：小1～小3 募集人数：30人 期間：日帰り	応募者数：248人 参加者数：37人 ・テント遊び ・野外炊事 ・川遊び ・魚つかみ	応募率が8倍となり、人気の高い事業である。低学年のメニューの需要の高さがうかがえる。内容もキャンプ体験のため、とても満足度の高いプログラムとなった。	適
18 平成28年7月3日(日) 生き物見つけ隊	対象：家族・一般 募集人数：50人 期間：日帰り	応募者数：102人 参加者数：71人 ・魚つかみ ・生き物探し	魚つかみから焼いて食べるという流れが定着しつつある。命の大切さを学ぶいい機会のため、食育指導があればなお良いと思われる。生き物を見つける時間が少なかったが、参加者は楽しそうに活動に参加していた。	適
19 平成28年7月9日(土) グリーン隊④	対象：小4～中3 参加者固定：37人 期間：日帰り	参加者数：35人 ・トラップによる昆虫採集 ・昆虫観察	雨天の活動となり、プログラムを一部変更して実施した。昆虫のスケッチを行い、屋内の活動として、木の実を潰して石鹸づくりを行っていた。自然の家らしい取組であったので、このまま活かしていきたい活動である。	適
20 平成28年7月10日(日) RED隊④	対象：小4～中3 参加者固定：47人 期間：日帰り	参加者数：38人 ・カヤック体験 ・野外炊事 ・竹箸、スプーンづくり	カヤック体験や、野外炊事では仲間と協力して事業を実施していた。参加人数の関係上カヤックの裏プログラムで竹箸づくりを行っていたが、完成させることができずにいた参加者もあったため、時間配分の見直しを指導した。	適(条)
21 平成28年7月17日(日) 家庭の日応援プロジェクト7月	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：78家族183人 ・川遊び ・ツリーハウス登頂体験 ・クラフト	川遊びをメインに事業を行った。生き物探しをする家族と水遊びをする家族のすみわけもできていた。夏の時期のため小川遊びの満足度が高く、継続していける事業だと思われる。	適
22 平成28年7月23日(土) ちびっこ隊1-3	対象：小1～小3 参加者固定：33人 期間：日帰り	参加者数：29人 ・テント遊び ・野外炊事 ・川遊び ・魚つかみ ・修了式	事業も3回目、これまでの内容をおさらいする形のため参加者も手際良く活動できた。また、魚つかみの時に命の尊さを学ぶ食育を行っていた。低学年児を対象とした事業を実施したことは自然の家にとっても良い感触であったと思われる。	適
23 平成28年8月8日(月) アウトドアセミナー①	対象：市内の小中学校教諭 募集人数：40人 期間：日帰り	応募者数：51人 参加者数：51人 ・野外炊事 (理論と実技)	教育委員会事務局指導課との連携事業で、若手教員のための研修会である。野外炊事の指導の実技を、自然の家の職員が行った。青少年の健全育成の担い手である教員に対して、自然の家の果たす役割が大きいと感じた。	適
24 平成28年8月8日(月) アウトドアセミナー②	対象：市内の小中学校教諭 募集人数：40人 期間：日帰り	応募者数：43人 参加者数：43人 ・カヤック体験 (理論と実技)	教育委員会事務局指導課との連携事業で、自然教室における人気プログラムを体験し、自然教室の指導内容の参考になるよう計画された研修会である。青少年の健全育成の担い手である教員に対して、自然の家の果たす役割が大きいと感じた。	適

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
25 平成28年8月10日 (水)、11日(木) 家族でカヤック体験	対象：家族・一般 募集人数：160人 (各回10組20人、4回) 期間：日帰り2日間	応募者数：373人 参加者数：297人 ・カヤック体験	人気事業のため応募者が定員の倍以上あった。多くの方に体験してもらえるように1日4回の予定を5回に増やして対応していた。指導にあたる職員は事前研修を積み、陸上と水上からそれぞれ監視にあたり、安全面には十分な配慮をしていた。	適
26 平成28年8月21日(日) 家庭の日応援プロジェクト8月	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：49家族185人 ・魚つかみ ・ツリーハウス登頂体験 ・生き物探し	7月に引き続き、川遊びを計画したが、川遊びに人が集中し混雑を防ぐため、ザリガニ釣りや的当てなどの遊びを設定していた。参加者の9割は、号外チラシを見てきたという結果から、広報活動の成果が見られた。	適
27 平成28年8月22日(月) ～24日(水) エンジョイ!夏キャンプ	対象：小4～中3 募集人数：40人 期間：2泊3日	応募者数：74人 参加者数：47人 ・テント設営 ・カヤック体験 ・野外炊事 ・ドラム缶風呂	この事業は皇學館大学の生徒がスタッフとなり運営の補助を行った。たくさんスタッフの目がある中で子どもたちが楽しめるように運営していた。自然の家と大学側スタッフとの連携が今後もできるようにつながりを大切にしていきたい。	適
28 平成28年8月28日(日) グリーン隊⑤	対象：小4～中3 参加者固定：37人 期間：日帰り	参加者数：25人 ・セミの抜け殻調査	セミの抜け殻がある木や抜け殻の向き、地面からの高さを記録する観察を行い、セミの種類の調査手法を学んでいた。このようにグリーン隊ならではの活動は、参加人数が少なくても大切にしていきたい。	適
29 平成28年9月4日(日) 森のオープンデー	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 携帯：日帰り	参加者数：2,690人 ・自然と生き物とのふれあい体験活動 ・クラフトづくり ・丸太切り ・昆虫さがし	天候もよく、他団体も含む17ブースで工作や昆虫探しなどを行った。アンケートから、1/4が初めて利用する方であり、チラシ配布外の地域からも参加していただいた。ホームページ等の広報活動の努力の成果が表れている。	適
30 平成28年9月10日(土) ～11日(日) RED隊⑤	対象：小4～中3 参加者固定：47人 期間：1泊2日	参加者数：42人 ・テント設営 ・薪割り ・野外炊事 ・体験遊びリンピック準備	1日目はキャンプ活動で野外炊事等を行い、2日目は10月に行われる「子ども体験遊びリンピック」の企画・準備が主な活動内容であった。子どもたちは、積極的に打ち合わせを行ない、リハーサルも行うことができていた。	適
31 平成28年9月18日(日) 家庭の日応援プロジェクト9月	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：6家族17人 ・グラウンドゴルフ大会	雨天のため、星の広場で行われるグラウンドゴルフは参加者が少なく、代替として、テントを張り、クラフトコーナーを準備した。今回はこの内容を踏まえ、事業内容の見直し等を指導した。	適(条)
32 平成28年9月19日(月) グリーン隊⑥	対象：小4～中3 参加者固定：37人 期間：日帰り	参加者数：32人 ・バッタ、赤とんぼ採集 ・バッタ、赤とんぼ観察	バッタは棲息する場所(草の高さの違い)によって、種類が違う等を調査する内容であった。参加者は図鑑を見ながら、バッタの種類が違うことの原因を考えるなど、有意義な活動となるよう計画・運営ができていた。	適

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
35 平成28年9月24日 (土)、25日(日) 秋のワクワクふれあい 祭り	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 4施設合同イベント 期間：日帰り	参加者数：延べ5,861人 24日：775人 25日：5,086人 ・クラフト ・ステージ ・工作コーナー	星の広場は特設ステージを設置し、ダンスや太鼓等の実演があった。星の広場と自然の家をつなぐスタンプラリーを行い、参加者を誘導できた。参加者は延べ5千人を超え、自然の家の知名度の向上がうかがえた。	適
34 平成28年10月1日(土) ～2日(日) 家族でキャンプ	対象：家族・一般 募集人数：40人 期間：1泊2日	応募者数：69人 参加者数：10家族38人 ・テント設営 ・野外炊事 ・テント泊	天候が悪い中で、一部予定を変更したが、テント泊、野外炊事、オリエンテーリングを行った。利用者アンケートはキャンプファイヤーやカヤック体験の希望もあり、時期を再考して次年度へつなげていきたい事業である。	適
35 平成28年10月9日(日) グリーン隊⑦	対象：小4～中3 参加者固定：37人 期間：日帰り	参加者数：31人 ・葉っぱの観察 ・生き物地図づくり	ふれあいの森で採取したオニグルミの殻を割って試食したり、森の中から葉っぱを探すプログラムを実施したりした。森の中で木の実や葉っぱの実物を見せ、触れる体験を行うことも、自然の家にふさわしい活動と思われる。	適
36 平成28年10月10日(月) RED隊⑥	対象：小4～中3 参加者固定：47人 期間：日帰り	参加者数：43人 ・子ども体験遊びリンピック 運営	前回計画した内容の運営を行った。参加者が昨年度より増加したが、準備から片付けまで隊員同士が協力して行い、連携ができるようになってきた。人材育成として行われている事業が軌道に乗ってきている。	適
37 平成28年10月10日(月) 子ども体験遊びリン ピック	対象：家族・一般 募集人数：なし(星の広場開 放) 期間：日帰り	参加者数：940人 ・空き缶積チャレンジ ・竹馬 ・ミニボウリング ・紙飛行機飛ばし	職員が全体的な管理を行い、様々な体験コーナーの企画・運営をRED隊が担当し、円滑に進められていた。昨年度の反省から、遊びのブースを増やしたことにより、昨年度より来場者数は増え、満足度が高い事業となった。	適
38 平成28年10月15日(土) ちびっこ隊2-1	対象：小1～小3 募集人数：30人 期間：日帰り	応募者数：69人 参加者数：33人 ・森の探検 ・ツリーハウス登頂体験 ・名札づくり	3回実習のうち1回目ということで、参加者の交流を深めることを優先した。森探検・ツリーハウス登頂・ネイチャーゲーム・名札づくりで交流を図り、仲間づくりの意識を芽生えさせていた。	適
39 平成28年10月15日(土) ～16日(日) 山のぼり隊	対象：小4～中3 募集人数：24人 期間：1泊2日	応募者数：19人 参加者数：17人 ・御在所岳登山	三重県山岳連盟に協力依頼し、当日は山岳連盟スタッフによる補助のもと、安全に十分な配慮を行い、予定通りに実施できた。今年度より、旅行業法により申し込み方法が変更となったが混乱なく実施できた。	適
40 平成28年10月16日(日) 家庭の日応援プロジェ クト10月	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：78家族268人 ・かぼちゃのランタン工作 ・遊びコーナー	ハロウィン風工作を行った。参加した78家族中リピーターが63家族あり、自然の家の知名度が上がったことを実感できた。参加者が多く、活動場所以不足するということがあったが、利用者の満足度は高かった。	適

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
41 平成28年11月3日(木) アウトドアクッキング	対象：家族・一般 募集人数：50人 期間：日帰り	応募者数：199人 参加者数：69人 ・蒸し鶏の丸焼き ・石窯ビザづくり	野外での調理体験は人気が高く、毎年応募されるリピーターの家族や市外からの申し込みも増えてきた。計画の段階から、参加者の満足度が高くなるよう努力している結果である。石窯で焼くビザはとても好評であった。	適
42 平成28年11月13日(日) RED隊⑦	対象：小4～中3 参加者固定：47人 期間：日帰り	参加者数：42人 ・野外炊事 ・イベント企画、立案	今回の計画・準備を行った。打ち合わせは、活発に意見交換をする姿が見られた。野外炊事では、後片付けやごみ掃除などを率先して行う姿があった。職員が丁寧に観察し、必要な助言を行うことで円滑な運営ができています。	適
43 平成28年11月19日(土) ちびっこ隊2-2	対象：小1～小3 参加者固定：33人 期間：日帰り	参加者数：30人 ・マッチの火つけ ・レクリエーション ・キーホルダーづくり	野外炊事と、キーホルダー作りを行った。初めてマッチの火付けをする子がいるため、十分な練習時間を取っていた。食後のレクリエーションも参加者のリクエストを聞き、サポートスタッフが臨機応変に対応していた。	適
44 平成28年11月20日(日) 家庭の日応援プロジェクト 11月	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：12家族50人 ・バードウォッチング ・クラフトコーナー	バードウォッチングと野鳥に関するクラフト(バードコール作り、野鳥スタンプを使ったキーホルダー)を行った。講師とスタッフとで野鳥の解説や双眼鏡の扱い方など詳しく説明したことで、参加者にとって満足度の高い事業となった。	適
45 平成28年11月23日(水) もみじ祭り歩こう会	対象：家族・一般 募集人数：100人 ※もみじ祭り実行委員会が募集 期間：日帰り	応募者数：177人 参加人数：177人 ・少年自然の家からふれあい牧場経由で宮妻峡までのウォーキング	昨年とコースが一部変更されたが、参加者が景色や会話を楽しみながら安全にゴールできるよう職員が無線で連絡を取り合いながら、参加者のペースに合わせて一緒にゴールまで歩いていた。地域貢献に一役買っていた。	適
46 平成28年11月27日(日) グリーン隊⑧	対象：小4～中3 参加者固定：37人 期間：日帰り	参加者数：30人 ・木の実、種の採取 ・観察、スケッチ ・どんぐりの試食	様々な種類の植物の種を採取し、その移動手段を学ぶ内容であった。雨天のため野外の採取時間が少なく、屋内での種の観察時間が多くなった。集中力が持続しない参加者もいて、プログラムの組み立てに課題が残った。	適(条)
47 平成28年11月27日(日) 木のクリスマスリースづくり	対象：家族・一般 募集人数：40人 期間：日帰り	応募者数：93人 参加者数：74人 ・自然物を使ったクリスマスリースづくり	雨天のため、リースの材料である木の実拾いを中止し、事前にスタッフが採取した木の実を使ってリースを作成していた。作業員や自然の家スタッフが見回り、作業の補助を行うことにより利用者の満足度が高い事業であった。	適
48 平成28年12月3日(土)～4日(日) ミステリーキャンプ	対象：小4～中3 募集人数：40人 期間：1泊2日	応募者数：35人 参加者数：32人 ・班で協力して取り組みゲーム ・野外炊事	班で協力してミッションをクリアし、パズルのピースを集め、最終回答を導き出すプログラムであり、野外炊事や施設全体を利用した参加者の満足度がとても高い内容であった。	適

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
49 平成28年12月11日(日) RED隊⑧	対象：小4～中3 参加者固定：47人 期間：日帰り	参加者数：40人 ・野外炊事 ・イベント準備、実践	前回のRED隊で決めた役割分担をもとに、隊員同士が相手をもてなすクリスマスパーティーを実施した。自分の仕事が終わったら、仲間を手伝い、ゴミ拾いを率先して行う姿が見られ、参加者の成長がみられた。	適
50 平成28年12月17日(土) ちびっこ隊2-3	対象：小1～小3 参加者固定：33人 期間：日帰り	参加者数：31人 ・野外炊事 ・ものづくり ・修了式	同じメンバーにて3回目の実施であり、野外炊事やスノードーム作りなど手際よく活動を行っていた。この事業は利用者・保護者とも非常に満足度が高く、スタッフの努力により充実した事業になった。	適
51 平成28年12月18日(日) 家庭の日応援プロジェクト12月	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：23家族73人 ・クリスマス関連創作コーナー ・ツリーハウス登頂体験	屋内ではクリスマスの雰囲気を感じられるようキャンドルライトや松ぼっくりツリーを作っていた。屋外でもクリスマスの飾りつけをしたツリーハウス登頂体験や、サンタの衣装を着て写真撮影など、参加者が楽しめるような運営が行われていた。	適
52 平成28年12月23日(金) 手づくりミニ門松づくり	対象：家族・一般 募集人数：40人 期間：日帰り	応募者数：297人 参加者数：101人 ・自然物を使ったミニ門松づくり	毎年人気のあるプログラムのため、今年度は午前、午後と2回に分けて行った。また、開始前に門松に関する豆知識を配布し門松の意味を伝えたことにより、ミニ門松作成の取り組みが熱心になり、利用者満足度も高かった。	適
53 平成28年12月25日(日) グリーン隊⑨	対象：小4～中3 参加者固定：37人 期間：日帰り	参加者数：29人 ・野鳥観察 ・巣箱設置	日本野鳥の会から講師を招き、自然の家周辺の野鳥を剥製で確認しつつ、くちばしと餌の関係性を学んだ。野外での野鳥観察と巣箱作りなど野鳥に親しみを持たせる内容であった。グリーン隊ならではの企画であった。	適
54 平成29年1月15日(日) 家庭の日応援プロジェクト1月	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：一家族一人 ・餅つき体験	大雪(施設周辺の積雪は約70cm)により施設利用が不可となったため、事業を中止した。	—
55 平成29年1月21日(土) ～22日(日) RED隊⑨	対象：小4～中3 参加者固定：47人 期間：日帰り	参加者数：38人 ・野外炊事 ・雪かき体験 ・修了記念品づくり	自然の家の駐車場の案内看板をタイルを使って作成した。参加者を4班に分け、皆が協力してできるように工夫されていた。また、野外炊事時に炊事場付近の雪かきも行い、大雪も体験活動の一環として取り組んでいた。	適

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
56 平成29年1月22日(日) 新名神四日市西トンネル(仮称)見学会	対象：家族・一般 募集人数：100人 期間：日帰り	応募者数：484人 参加者数：30家族91人 ・建設中のトンネル見学	中日本高速道路工事現場の作業員協力のもと、掘削中のトンネル内部を見学する貴重な体験を行った。自然の家外の活動のため、受付時に混雑が生じたため、次回の反省とした。利用者の満足度はとても高かった。	適(条)
57 平成29年1月29日(日) グリーン隊⑩	対象：小4～中3 参加者固定：37人 期間：日帰り	参加者数：29人 ・森探検 ・里山保全学習	里山は生き物が生息する場所として必要なこと、その里山を守るために間伐が必要な事を学んだ後、里山保全活動を行った。隊員にとって、大好きな生き物を守るために、一生懸命に活動できていた。	適
58 平成29年2月4日(土)～5日(日) 思いっきりスキー	対象：小4～中3 募集人数：30人 期間：1泊2日	応募者数：45人 参加人数：31人 ・御在所スキー場でのスキー体験 ・雪山体験	事前に参加者のスキーレベルを把握し、鈴鹿スキークラブから講師を招いて実施した。小グループには、職員の他、スキー経験者のボランティアスタッフが配置されており、参加者を適切にフォローしていた。	適
59 平成29年2月12日(日) 新名神四日市西トンネル(仮称)見学会	対象：家族・一般 募集人数：100人 期間：日帰り	応募者数：328人 参加者数：29家族85人 ・建設中のトンネル見学	雪が降る中、工事現場の方々と一緒に工事中のトンネル現場を見学していた。工事関係者の詳しい説明を聞き、めったにできない体験ができた満足度の高い事業であった。	適
60 平成29年2月19日(日) 家庭の日応援プロジェクト2月 森のオープンデー	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：2,077人 ・木の遊びブース ・創作活動 ・木こり体験 ・バードウォッチング	自然の家の活動以外にも、バードウォッチングや木のジャングルジムのブースを民間の団体に協力して行うなど、それぞれの良さを合わせて、事業を運営できていた。チラシを作成・配布する努力が参加者数に現れている。	適
61 平成29年2月26日(日) グリーン隊⑪	対象：小4～中3 参加者固定：37人 期間：日帰り	参加者数：23人 ・冬芽さがし ・冬の生き物探し	ふれあいの森で1人20種類を目標とした冬芽の採取・観察を行った。参加者は意欲的に取り組んでいた。季節に応じた内容を実施し、冬の自然に触れる活動が行われていた。	適
62 平成29年3月5日(日) 化石ハンター	対象：小4～中3 募集人数：40人 期間：日帰り	応募者数：36人 参加者数：27人 ・化石探掘体験 ・化石の学習	化石採取場所への移動や活動する場所での注意を丁寧に話し、参加者の安全に十分配慮して実施できた。講師は、地学が専門の元小学校長を招き、化石の成り立ちなど楽しく実技を交えて学ぶ機会を提供していた。	適
63 平成29年3月11日(土) グリーン隊⑫	対象：小4～中3 参加者固定：37人 期間：日帰り	参加者数：31人 ・フィールドサイン(生き物の痕跡)探し ・生き物地図発表会 ・修了式	1年間の集大成として、自分達でテーマを設定し、生き物を観察・記録したことを発表した。1年間の活動を通じて参加者が昆虫以外にも興味を持つことで視野が広がったこと、仲間同士の交流ができたことが収穫であった。	適

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
64 平成29年3月12日(日) RED隊⑩	対象：小4～中3 参加者固定：47人 期間：日帰り	参加者数：40人 ・修了パーティー ・修了式	1年間の集大成として、野外炊事と終了パーティーを行った。参加者が手際よく準備を進め、他班が遅れていたら手伝うなど、仲間と協力し、課題を解決する力を養うという年間目標を達成することができていた。	適
65 平成29年3月19日(日) 家庭の日応援プロジェクト3月	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：64家族224人 ・木のおうちをつくろう ・のこぎり体験 ・カンナ体験	親子で工作・参加できる企画であった。子ども達は普段のこぎりやカンナを使用する機会がないため、親が危険を教えながら、子ども達が刃物の扱いについて学ぶなど、親子のふれあいとしてよくできた企画であった。	適

総合コメント

施設の設置目的に沿い、自然体験事業や人材育成事業が積極的に実施されました。本社の安全監査委員会の指導の下、安全管理マニュアルを全職員で見直し、それに基づき参加者の安全を第一に、無理することなく事業の実施や変更、中止の判断を的確に実行できています。スタッフの創意工夫のもとバラエティー豊かなプログラムが提供されました。職員全体で打ち合わせや下見に充分時間をかけ、周到な準備の下に実施されました。参加者が少ない冬場にも利用率を上げる努力をし、ニーズに合った事業を行いました。また、応募型の事業について、募集予定人数を大きく上回った事業がいくつかありましたが、柔軟に対応できる部分もあり、利用者の満足度の向上に寄与しています。一方、今年度からジュニアスタッフが主催事業の多くでサポートスタッフとともに職員を助け、運営を補助する役割を担いました。青少年の健全育成という観点において、運営補助だけでなく、さらに子どもたちが力を発揮できるよう企画にも参画できる場面を設定するなど、質の高い人材育成に寄与する事業の実施を期待します。

平成28年度 少年自然の家及び水沢市民広場 設備・備品の維持管理状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	現地確認	毎月実施している連絡調整会議のほか電話・メール等でも連絡を密に取っている。	適
	記録	整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか	書面確認 現場確認	毎月実施している連絡調整会議で点検結果表を確認。適切に保管されている。	適
建築物保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び連絡調整会議で現場確認。	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び連絡調整会議で現場確認。	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び連絡調整会議で現場確認。	適
	修理	修繕工事は適切であったか	書面確認 現場確認	市担当者が確認。適切に実施されている。	適
設備保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び連絡調整会議で現場確認。	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び連絡調整会議で現場確認。	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び連絡調整会議で現場確認。	適
	修理	修繕工事は適切であったか	書面確認 現地確認	市担当者が確認し、適切に実施されている。	適
備品・什器等保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び連絡調整会議で現場確認	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び連絡調整会議で現場確認	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び連絡調整会議で現場確認	適
	修理	修繕工事は適切であったか	書面確認 現場確認	月次報告書及び連絡調整会議で現場確認	適
外構施設保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び連絡調整会議で現場確認	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び連絡調整会議で現場確認	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び連絡調整会議で現場確認	適
	修理	修繕工事は適切であったか	書面確認 現場確認	月次報告書及び連絡調整会議で現場確認	適

総合コメント

少年自然の家は、建築後、本館（昭和62年建築）は31年、分館（昭和48年建築）は44年経過しているため、経年劣化に伴う軽微な不具合について施設修繕の機会が増えています。専門性が高いものを除き、職員や作業員が修繕を行うことで経費削減に努めています。修繕の実施についても、毎月開催する市と指定管理者との連絡調整会議において確認しています。

平成28年度 少年自然の家及び水沢市民広場 サービスの質 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
運営業務	使用許可、 利用料金の 徴収	スムーズに予約できたか	現地確認	毎月の連絡調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
		許可証は速やかに発行されたか	現地確認	毎月の連絡調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
	施設・利用 案内	行事開催案内の時期は適切か	書面確認	市広報、ホームページ及び募集チラシを確認。適切に実施されている。	適
		ホームページは見易いか	HP確認	適切に作成されている。	適
	受付・対応 業務	担当者の接客態度は良かったか	アンケート結果 及び現地確認	利用者アンケート結果「大変満足」「満足」を選択された割合。毎月の連絡調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
		使用者に対する指導は適切であったか	アンケート結果 及び現地確認	利用者アンケート結果「大変満足」「満足」を選択された割合。毎月の連絡調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
		業務従業者は名札を着用しているか	現地確認	毎月の連絡調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
	運營業務	講座やイベントは満足できる内容であったか	アンケート結果 及び現地確認	利用者アンケート結果「大変満足」「満足」を選択された割合。自主事業について市職員が現地でモニタリング実施。適切に実施されている。	適
	維持管理業務	施設・設備 の保守管理 業務	施設が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	アンケート結果 及び現地確認	利用者アンケート結果「大変満足」「満足」を選択された割合。毎月の連絡調整会議において現地で確認。適切に実施されている。
設備が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか			アンケート結果 及び現地確認	利用者アンケート結果「大変満足」「満足」を選択された割合。毎月の連絡調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
清掃業務		トイレトーパー、消毒用品、手洗い用石鹸は常に補給されているか	現地確認	毎月の連絡調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
		全体的（駐車場を含）に、見た目清潔に保たれているか	現地確認	毎月の連絡調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
警備業務		避難経路には障害物がないか	現地確認	毎月の連絡調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
外構・植栽 管理業務		機能・美観が良好な状態に保たれ、利用者が安全に利用することができるか	現地確認	毎月の連絡調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
		利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	現地確認	毎月の連絡調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
		樹木・花壇は見栄え良く管理されているか	現地確認	毎月の連絡調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
		草刈りや除草はされているか	現地確認	毎月の連絡調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
環境衛生管理 業務		快適に利用できる環境となっていたか	現地確認	毎月の連絡調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
廃棄物処理 業務		廃棄物は適切に分別が行われていたか	現地確認	適切に実施されている。	適
備品管理業務		利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	現地確認	適切に実施されている。	適

総合コメント

施設利用者及び主催事業参加者に施設利用等の満足度及び改善点のアンケート調査を行い、指摘及び要望については、職員間で情報共有し、速やかな対応に努めています。
職員間で入念な打ち合わせを行うことによる準備、現場状況の的確な把握により、サービスの質の向上に努めています。